

【様式 1-1】

東松山市
橋梁長寿命化修繕計画

平成 2 5 年 3 月

東松山市役所建設部道路維持課

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

- 東松山市が管理する道路橋のうち、橋長が15m以上か緊急輸送路等の重要路線の管理橋は72橋あり、このうち平成25年3月31日時点では建設後50年を経過する老朽橋は2橋で全体の3%を占めています。
- 20年後には、建設後50年を経過する老朽橋は急速に増加し、対象管理橋梁数の67%占めることとなります。今後、橋梁の修繕・架換えに要する費用はこれまで以上に増大することが予想されます。

2) 目的

- これまでの橋梁維持管理は事後的な対応(対症療法型維持管理)でありましたが、効率的かつ効果的な対応(予防保全型維持管理)に転換をおこなうことにより、橋梁を長持ち(長寿命化)させ、安全性の確保と維持管理・更新費用の抑御を図ることを目的とします。

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

全管理橋梁数		288
うち計画の対象橋梁数		72
うちこれまでの計画策定橋梁数		72
うちH24年度計画策定橋梁数		72
○橋梁長寿命化修繕計画の対象：橋長が15m以上か緊急輸送道路等の重要路線の管理橋		

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

従来は損傷が顕在化し、健全度が大きく低下した橋梁に対して大規模な「修繕や架替え」を行う「対処療法型」を行ってきましたが、今後は定期的な点検と健全度の診断により損傷が顕在化する前に対策を講じる「予防保全型」を繰り返し行うことで、橋梁の長寿命化を図ります。なお、本『長寿命化修繕計画』における修繕は、耐震補強は対象外とし、修繕に対する要求性能は表-2.1 に示す健全度3以上の回復を基本とします。

表-2.1 部材の健全度

健全度	状態
5	健全な状態
4	損傷が軽微で進行性が非常に低い状態
3	予防保全により長寿命化が図れる状態
2	事後保全が間に合う状態
1	大規模な修繕や更新が求められる状態

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

長期計画で定めた方針を実現するため、今後10年間の点検、修繕・架替えの具体的な時期や予算を定め、実行します。これは本長寿命化計画への取り組みにおいて、継続的に改善を図り、より効率良く、効果的な維持管理を行っていくことを目的としています。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架換えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

予防保全型に対して予算の平準化を行った維持管理をLCC最適型とします。主部材(主桁、床版等)は予防保全型を基本としますが、副部材である支承、伸縮装置および舗装においてはLCC最適型で計画した場合に腹部材が事後保全型となった場合には、別途予算を確保して緊急対応を行うものとします。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

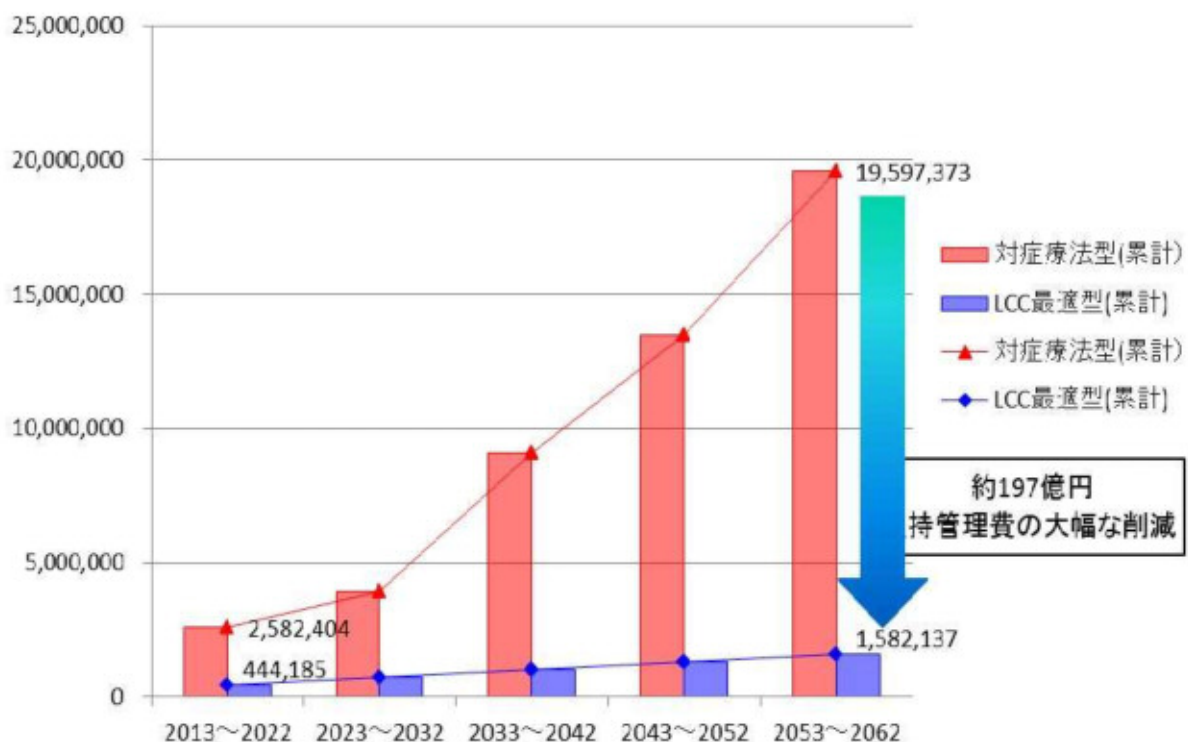
様式1-2による

6. 長寿命化修繕計画による効果

○本計画により、維持管理費を抑制しつつ、橋梁の安全と安心を確保することができます。

東松山市の管理する対象橋梁72橋に対して、今後50年間（長期計画）で約197億円のコスト縮減が見込まれます。

管理補方法	管理費(千円)
対症療法型維持管理費	21,283,418
予防保全型維持管理費	1,611,580



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署

東松山市建設部道路維持課

TEL: 0493-21-1456

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

芝浦工業大学教授 勝木 太

